

## 1977年世界の行事

1月 アフリカ・ジャンボス・ナイルランド  
ボーリー  
6月 ジュビリー・ジャネバール  
ンボリー  
第二回インドネシア・メダン  
ア・ジャンボリー  
カナダ・ジャンボ P.E.I.  
リード  
スコット・トレッスコットランド  
ク77  
ナショナルキャンプ アイスランド  
7月 ジャンボ・ローラフアイルランド  
ナショナル・キヤルヒベルクドイツ  
ンブ(BdP)

## 1977年世界の行事

2月 フィンランド・シー・フィンランド  
スカウトキャンプ  
3月 アメリカ・ジャンボベンシルバニア州  
リード  
第二回太平洋ジャンイラン  
ボーリー  
第六回カリビーン・ジャマイカ  
ジャンボリー  
第五回韓国・ジャンボ韓国  
リード  
バングラデシュ・ジ・バングラデシュ  
ヤンボリー  
8月 第二回斐ジー・ジ・斐ジー  
ヤンボリー  
第九回タイ・ジャンボリー



# スカウト 浜松



## 制服脱いでもスカウト精神

県連理事・地区副委員長  
市川 重雄

かつて訪れた鹿児島に「郷中教育」のあるのを知った。七才前後から結婚までの青少年が毎日一定の場所に集つて剣術、漢書などの自主学習をする地域教育であった。「人に後れをとるな」と

「卑怯は恥せぬ」「議をいうな」等兵児気質が徹底しておこなわれた。「自主と連帶」の教育でボーイスカウト運動の前身とも思われる。かかる郷中教育の下に西郷隆盛、大久保利通、大山巖、東郷平八郎の諸先輩が生まれ、幕末より明治にかけて日本を大きく動かした偉業もさそどうかがわれる。今の日本は明治維新の激動の時代にも匹敵される。戦後32年、確かに物の面では日本にかつてない程の繁栄の姿を現出したが、何か心の面にもの足りなさを感じられる。昔から「衣食足って礼節を知る」といわれたが、最近では「衣食足って礼節を忘る」の感がある。こういうときであればある程スカウト教育の必要性がある。ボーイスカウト運動は「ちかい」と「おきて」の実践を基盤とし、ベーデン・パウエルの提唱する班制教育と各種の進歩制度

と野外活動を、幼年期より青年期にわたる各年令層に適応するようにわけ、成人指導者の協力によって教育してゆくという基本方針であるが、これこそよりよい日本人をつくるためにも極めて重要である。

昭和52年度のスカウト運動は加盟員数30万名を目標とする日本連盟の組織拡大長期計画第一次五ヶ年計画の最終年度である。この計画期間中に実施した諸施策についての評価分析を行い、第二次五ヶ年計画策定のための諸資料を整備すると共に、四たび本県で行われる昭和53年8月、御殿場滝ケ原での第7回日本ジャンボリーの諸準備を計画的に推進してゆく年もある。然しそスカウト運動の基はあくまでも団であり隊である。隊員諸君の努力とリーダー・团委員・育成会員の大きな和の中から日本を背負ってたつ青少年の育成が出来る。かかる意味で我々は制服のときは勿論であるが「制服を脱いでもスカウトだ」の精神をもって、更に研鑽し、よりよいふるさとづくりの為に献身しよう。

弥栄！

# 弥栄、 日本連盟かっここう章 授賞

日連中央審議会議員  
日連財政委員会委員  
県連理理事  
浜松地区副委員長 市川重雄  
浜松地区副コミッショナー 後藤守利



後藤・市川両氏

市川重雄、後藤守利、両氏が昭和52年2月19日、東京三和銀行会議室に於ける、日本連盟全国会議の席上で日本連盟かっここう章を授賞されました。

静岡県連盟よりは6名授賞され、うち浜松地区ではご両名が晴れの栄誉にかけやいたわけです。お目出度うございます。

市川氏は浜松第16団結成以来団委員長、育成会長、又地区、県連、日連の要職にあり、10有余年スカウト運動の強力な推進者であります。

後藤氏も浜松第10団結成以来リーダーとし又地区役員と大なる活躍をされている方で、昭和50年には第14回世界ジャンボリーに参加しました。

ご両名の益々のご活躍を期待するものであります。

## 浜北第5団少年隊結成式

浜北第5団団委員長 伊藤 尚



浜松第5団結成式

長い間懸案でありましたボーイスカウト浜北第5団（浜北市中瀬地区）が3月6日誕生致しました。浜北地区には既に結成10周年を迎えた第1団を始めとして第4団迄結成され、各々青少年の健全育成とスカウト精神昂揚に地区をあげて活動して居られる様子を見聞するにつけ、市の東北に位置し純農地域とも言える中瀬地区の少年達に多くの仲間と共に歩むことの出来る

ボーイスカウトを結成し、最近の暗い世相から希望と勇気を把握し、奉仕と友愛に生きる喜びを体験し乍ら将来立派な社会人育成を目途として、1昨年秋以来教育委員大城保氏を中心に市青少年活動推進委員及O Bの諸兄並びに学校の先生等10名をもって結成準備委員会を構成、種々協議を重ね昨年4月、小学校に於て校長先生に面接、ボーイスカウト隊員募集について協力方お話し申し上げたところ、早速出来る限りの協力を下さるとの返事で、5月下旬地区コミッショナ外山先生にお出かけ戴き6年生を対照に、続いて6月中旬に5年生の父兄を対照に説明会を開催、8月の暑中休暇を利用してスカウト活動の映画会と再度の説明会（外山先生と第4団高柳春男氏来校）を催し後日仮募集をした結果、9月末迄に13名の入隊希望者がまとまつたので協議の結果、10月24日外山先生指導のもとに訓練始めを行つたのであります。亦訓練に先だって、9月26日県立森林公園に於て行われました地区大会には、地区の方々の御厚意により参観を許され6名のものが参加させて戴き大変有意義な1日を過すことが出来ました。亦11月21日中瀬小学校庭に於て浜北ブロック大運動会を実施、中瀬地区の発団を皆さんとの友情で発展させようとスカウト一丸になっての厚情に対し日々頭の下がるおもいで一杯ありました。此の様に地区の皆様の善意を戴き乍ら訓練を重ね、昭和52年元旦を迎えるに当り、スカウト及父兄、準備委員全員午前6時天竜川に集合、寒氣の中元気一杯遙拝式を行い、近づく結団に意気を燃し健康な1年を過そうと誓い合い乍ら暖を取り一杯の甘酒にお互に幸せな一刻を過しました。

扱て訓練も順調に進み、2月6日午前9時より津島神社境内に於て、折りからの異状寒波のめげず隊員は1名の欠席もなく、父兄、育成会員の見まもる中で審査を受け3ヶ月間の訓練の成果が認められ、尚帖表類の整備等についても点検を戴き細かな御指導があり無事パス出来た事を一同喜び合いました。

亦前後になりましたが、スカウトの運営に大切な後援団体である育成会につきましては、1月15日中瀬地域の市会議員をはじめ、有識者の皆様方大ぜいの御参会を戴き設立準備会を開催、設立について全員の御賛同と激励を戴き準備委員一同意を強くした次第であります。そして1月30日多数の育成会員御出席のもと、第1回の設立総会を開催、規約の設定承認、役員選出、収支予算等承認等の議事について熱心に討議が行われ全会一致で賛成通過し、物心両面に亘り大変な御協力を戴き、厚く感謝申上ぐる次第であります。

此の様な経過に基づき準備も着々と進み、中瀬地域住民待望の結団式の前夜行われる隊員の「誓いの式」は午後7時より4区公民館に於て外山先生御指導のもと父兄リーダー、育成会役員、团委員全員参加の中三本の灯に照された式場に、隊長と隊員一人、一人が隊旗を心にして厳しうなふんいきのうちに、極く自然に誓いの式が行われ、隊員はもとより参会者全員感銘深い式を体験し、今後のスカウト活動に大変有効であったと思います。明けて3月6日午前10時より中瀬小講堂に於て結成の式が弥生三月とは申せ余寒厳しい中に行われ、それに先だって各地区より御参加戴いたボーイ、カブ、ガール各スカウトのパレードが浜北1、4のカブスカウト隊編成の鼓笛隊を先頭に元気一杯約3kmの道を行進、沿道の皆さんから大変な拍手を戴きました。そして10時より講堂に県連副連盟長尾崎氏を始め多ぜいの来賓各位の御臨席を戴き、約330名の参列者のみまもるうちに式次第は進み、此所に浜北第5団少年隊は日本ボーイスカウト連盟に加盟が承認され皆様より大変な祝福を受けて誕生致しました。然し結成が行われたとは申せ知らない事、経験もない事等1年生であります。今後此の少年隊が一人前に成長する為には団員一人一人の勉強訓練は勿論でありますが、先輩各位の深い御指導と御支援を戴き乍ら、地域に根ざした住民ぐるみのおしみなき御協力を心よりお願い申上げます。

## 浜松第18団カブ隊結成式

浜松第18団カブ隊長 福田 茂雄



カブ発隊式（浅間神社）

樹々の息吹も春を感じさせる3月6日浅間神社の境内に於て県連、地区委員、各団委員の方々をはじめ各友隊のスカウト多数の参列を載くばかりか、各友隊のスカウトより当団スカウトに素適なプレゼントの贈呈があり式典に華をそえくださり、盛大なカブ隊の発隊式が出来ましたことを、この紙面をおかりしまして厚くお礼申し上げます。

当団も10年目にしてカブスカウトの誕生を見ることが出来ましたことは、これ一重に地区役員の多大なるご指導と団役員のご努力の賜ものだと痛感致している次第です。

私達一同カブスカウトの活動については未経験な者ばかりで何かと友隊の皆様方には、ご指導戴くことばかりではないかと思いますが、リーダー一同牛歩ながらも一生懸命スカウトの道に励んで行く心算にております故、今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

## 南部小地区B-P祭

2月20日 篠原中学校の校庭で、南部ブロックB-P祭が、500余名のスカウト・リーダー・父兄の参加者により盛大に開催された。式典は厳かなうちにもB-P卿の足跡の偉大さと、遺徳を偲んで、スカウティングを更に前進させようと、参加者の顔が、眼が、ふりそそぐ陽光に輝いていた。

スカウト等が待ちこがれていた各コーナーが一齊に開かれ、それぞれのコーナーへ散っていった。簡単に抜けられそうでい



カブコーナー

て、抜けられない迷路コーナー。風と共に地上をどこまでも走る風車作りのコーナー。グランドの状態によって得点が左右されるボーリングコーナー。ジュースの空缶へ当ると「カン」と鳴るゴムかんコーナー。特大出べそめがけてボールを当てる鬼泣かせコーナーなど、校庭一杯にくりひろげられた各コーナーに、スカウト達は歓声を上げあげていた。

工作教室を使っての映画コーナーは、大勢の観客の熱気と、拍手に湧いていた。

浜松第20団から味付の極意を伝授されたつゆと、浜名湖から



名物ウドン作り

採り立ての海苔の香りが、列を作っているスカウト達の食欲をいやがうえにもかきたてた、うどんコーナー。おでん、にこみと、みんな大きな口をあけて、ほおばっている。

楽しく有意義にすごした1日を、この行事の準備、運営に奉仕をされた方々に深い感謝の念を残しながら、再会を誓って、それぞれ帰途についた。

## 中央小地区B-P祭



元気一杯、サッカー

昭和52年2月27日 卸本町会館において、中央小地区B-P祭を開催した。年頭初、地区においては、各団各隊ごとにB-P祭をおこなうとの事であったが、年に2~3回の小地区的集いがあつた方が良いのではないかとの話し合いがあって、この開催となった。

出席者、リーダー31名、团委員41名、スカウト182名の計264名で第一部式典が始まった。ホールの周囲には、B-Pに関する展覧会と称しての、個人、班、隊それぞれの製作による肖像画、年表、版画その他多くの美術工芸作品が展示されている。第2部へ移る前に、展示に対する投票が記名式で行なわれた。結果は第3部でのお楽しみという事で、第2部へ移った。

会場は海岸砂丘、種目は参加者全員によるサッカー、ゴールは6つ、ボールも6つ、ルールは、前後どちらからゴールを通過しても得点になると、1点入れられたチームはゲームから抜けること、リーダーの1名のみがゴールキーパーになることだけである。人数が多すぎてか、点がなかなかはいらないうちに時間切れ……。

第3部は、再びホールにもどり、講評、表彰を行った。展示物の第1位は14団カブ隊であった。

B-Pを偲びながら有意義にすごした一日であった。最後にある团委員の特別出展—自然の木の実、木の葉などで作った、おもちゃは、すばらしうものであった事を加えておきます。

## 座談会 —スカウト活動に期待するもの—

(昭和52年3月11日夕方、法林寺にて行われたものを収録)

### 出席者(順不同)

**生態義雄氏** (浜松ライオンズクラブ)  
(第1副会長)

**中村道雄氏** (可美村教育長)

**杉山大氏** (入野幼稚園々長)

**鈴木咲子氏** (民生委員 婦人部長)

**内田時世氏** (BS浜松地区委員長)

**内田嘉一氏** (〃 副委員長)

**牧野績氏** (浜松地区コミッショナー)

**後藤守利氏** (〃 副コミッショナー)

**三輪悦爾氏** (県連副コミッショナー)

### 司会 牧野 繢氏

**牧野** 『スカウト活動に期待するもの』と言うことでお話し合いをしていただき、より良いスカウト活動を開いていきたいと思います。ライオンズクラブを始め各地の皆様方のご協力お願いいたしたいと存じます。日頃特にご協力いただいておりますライオンズクラブの会長さんの方から問題提起ということで何かお願いいたします。



**生態** 先程ご紹介のあつた通りピンチヒッターであるし、こういうことに知識を持っておりません。会長の常に活動の一端としております青少年の健全育成というような事で、事ある毎に強力におしそうめていますが……。会長の意向を伝えますと、大いにやってもらいたい。また後援を惜しまない。あまり予算はないけれど協力させていただきたいということです。



**牧野** BSは、みんなボランティアで活動していますので、実績を上げていきたいと思います。日頃のご協力ありがとうございます。ここで地区委員長より日頃の様子についてお話しを願います。

**内田時** いろいろご協力ありがとうございます。勤務をもった者達で指導をすすめていますので、思うようにいかず、あせりを感じたりしていますが……。皆様方のご援助で活躍を続けております。浜松は他地区に比較して活発に活動しております。おかげで県連へ行つても肩身のせまい思いをしなくとも済みますし『スカウト浜松』と言う全国にもないこともしております。ま、大人が範を示せば子どももついてくるであろうと長い目で見た指導をしていますので……。即効性は期待してはいませんが、皆様方に遠慮なく叱咤を聞いて日頃の反省の材料にいたしたいと思います。

**牧野** BSの教育は、各々年令学年によって違いますが、四つの柱をたてて教育に当たっています。①人格の形成②健康③知識技能④奉仕の実践ということです。私達は子どもに奉仕しているのですが、鈴木先生如何でしょうか。

**鈴木** そうですね。私が篠原の婦人会長をしていました時に柳



本先生があちらの方のお世話をなさっていました時にBSのためにテントを寄附してほしいとおっしゃって……。BSは学校とか家庭でできない教育をして下さるということで、び力でしたが、あの時テントを寄附させていただきました。子どもたちに非常に喜んでいただきました。かわいい制服を着て子どもたちが活動しているのを見まして本当にこういう所に家庭のお母さん達がすすんでおいでになって、家庭や学校でいろいろ教えられない。とにかく社会へ出てもっとも大事な人間として持たなければならぬそういう精神を小さいながら、うえつけていただけるということで大賛成でしたがその後認識不足になって……。BSが社会奉仕をしていることを耳にしては喜んでおります。お母さん方がすすんでご協力してくれたらなあと思つております。

**牧野** ま、BSも、CS・BS・RSというような段階を持つて一貫した教育をすすめていますが、その点後藤さんに様子をお話ししていただきましょう。

**後藤** あのテントはもうあれから18年近くになりますけど、今でも大切に使わせていただいている。

**鈴木** そうですか。

**後藤** その後も、婦人会の皆様よりご援助をいただいておりますが……。子どもを見ていますと、昔と比べてスケールが小さくなっているように思います。昔の方が何かバイタリティーに富んでいたように思えますね。社会体制のせいかも知れませんね。話は変わりますけれど希望者が多く、お断りするのがむづかしい現状です。リーダーは責任感旺盛ではりきっていますが思うように動けないです。やはりリーダー不足がたたって希望にそえませんね。

**鈴木** リーダー養成はやっているのですか。

**後藤** 協力できる人をさがしているのですが、若い方は会社がどうしても優先しますし、やる気はあってもどうにもならない事が多くて困っています。

**鈴木** 校区の中での奉仕は?

**後藤** うちの隊では、目につかない所でしている。老人ホームの慰問とかいったことはしていないが、四つの柱にそって活



動をしているので奉仕の面に欠けているかも知れません。

**鈴木** わかりました。

**杉山** 適当なりーダーがいるなくてよくやっていますね。

杉山さん



三輪さん



**杉山** 奥様のご理解は。

一同笑い

**後藤** 実際には、苦言がタップリで……。自分の子どもをさしあいで、他人様の子どもの面倒ばかりみて……。

**杉山** 私共の園舎を日曜毎にお貸していますけれど、大へんな仕事だなあと思いますね。

**内田時** ズバリ痛いところですね。内助の功とは言いますけれど……。(笑) おそらく不平を言ってもやむをえないとあきらめているのかも知りませんね。自分の職を投げ打ってもというわけにはいきませんし。都合のよい時には少しでも顔を出して下さいぐらいですね。先程ご指導ありました奉仕の件につきましては、目的が違いますのであまりご期待にそえないと思います。

**鈴木** 子どもに奉仕の精神をうえつけることは大切なことですね、小さいころから集団訓練をすることも。

**内田時** そうですね、近頃では兄弟の上下関係もないことが多いし、ですから、他人が兄になり弟になっていくことが、子どもを子どもらしく育てる場合是非必要なことですね、そうすることによって、子どものわがままを抑えられますね。

**鈴木** ところで、入団希望者が多く、うれしい悲鳴が出るでしょうね。

**内田時** そうですね。

**牧野** 私共の団でも、そうですね。現実には各隊定員がありますからね。多人数の収容は、教育面でずさんになり勝ちですから。その点可美の場合何如でしょうか。社会教育という面からも。

**中村** 私共の団も、幾度かの浮沈がありました……先日スクウトの子供達とスキーに行きましたが、スキーで遊んでいる姿を見ても、日常の様子を見ても元気いっぱいですね。皆様方はそのような子達の相手をしているので、髪の色も黒々としているのですね私も、そうしていればよかったです。(一同大笑)

このような活動を生きがいとしてがんばつて下さる人達を教育長として期待しています。

社教の面から言うと、一番相談に来ないのがBS。他のスポーツ少年団等はいつもですよ。子ども達の作っているお祭りのみこことか、しめなわ、その他凧等をみていると、県でやっている故郷(ふるさと)学級のやっているのと同じ点が多いですね。そっちの予算をBSにまわしたいくらいですね(笑) 今年は大いに側面的援助を考えていきたいですね。

**牧野** 社教の一環として各種の活動が巾広くおこなわれていますね。

**中村** 実際によく活動していますね。

**後藤** 話は変わりますが、来年のCS活動では、月毎のテーマ

を決めて子ども達に当たろうと思っています。例えば、感謝、神や佛に対する敬けん、郷土愛等も、そのテーマの中に入れていきたいと考えています。そのような精神的な面での教育についてライオンズクラブの生態さん如何でしょうか。

**生態** いやあ私は場ちがいをしてしまったようです。ライオンズクラブのミーティングぐらいのつもりでいましたし……。

**後藤** 一人でも、ご理解をいただける方をふやそうと……。

**生態** とにかく勉強不足で……。

**鈴木** 後藤さん、神社や仏閣へ子ども達を連れていったらどうでしょう。

**後藤** 宗教が近頃多岐にわたっているので、特定の宗教うんぬんもできないし、でも、信仰心は育てたい。今の家庭では、宗教もはっきりしないし、家紋なども知らない。その話が出た時には、隊長の機転で母親達が大助かりしたことが、ありました。場ちがいかも知れませんけど、子どもをだしにして母親同志のつながりもできますね。

**鈴木** そうですね。それは良い事ですね。

**中村** それは、はっきり社会教育ですね。

**内田時** CSは家庭教育にもつながっていますね。遠鉄を中心にした団の発足もそういうことがからんでいますね。

**鈴木** そうですか。

**杉山** 学校教育は、母親の考え方を改めたり、母親の教育ということを考えいかねばなりませんね。今の子どもは忍耐力はないし、わがまま育っているし……。

**内田時** 親の再教育をね、実際、子ども達には悪いことはないですね。育てる親が悪いことが多いように思われますね。

**鈴木** 終戦後から教育が大きく変化したでしょう。

**内田時** おかしな話ですが、歴代の文部大臣の中には、学校教育は信頼できない、信頼できるのはBSだけだと、おっしゃっている方が多いですね。そんなことがもとになって社会教育を学校教育に取り入れる試みをしていますが、違年令教育を中心にな、静岡県を含めて四県でおこないその報告をさせたが静岡が一番良かった。そこでもう一度静岡案で他の一県にもさせてはどね。53年には資料を渡すことと思います。

そんなことを含めて、学歴履歴の社会をつぶしていくかなくては。

**鈴木** そうですか。

**内田時** 本当にBSの教育は良いこと認識していただかないと、近頃の教育で、欠けているのは精神面ですね……。

**三輪** 確かに、これでいいのかなって思いますね。しかし、我々も自己満足におちいりがちですね。

**内田時** 教えることは、自ら学ぶことです。リーダーは自己研さんをすすめてほしいですね。

**中村** 幼稚園でも、子どもに教えられることが多いと聞きますが。

**杉山** そうですよ。本当に。

**内田時** 「スカウティングの原点をさぐる」は良いことが書かれていますね。

**杉山** BS活動をもっと大切にしていきたいですね。

**中村** 自分達の勉強にもなりますしね。

**内田時** リーダーの問題もむずかしいですね。一般のボランティア活動面へは行く方が多いのですが、BSみたいな子ども相手というのは集まらないですね。

**内田時** そんな悩みもありますが、現在の浜松は県下ですし、毎年じわりじわり増加しています。浜松より人数の少ない県連もいくつかありますね。

**中村** 私の所では、増加しているけど内容の充実が優先します

ね。

話は変わりますが、指導者不足については、学歴偏重・立身出世しか考えられない若者と考えていくとどうにもならないみたいですね。学校が、そういう事にかまっているんですね。

**内田** 現在社会では、ホワイトカラーの就職難、ブルーカラーの増加、それに、学歴と労力、教育と教養の混同が多すぎますね。人間性の涵養ということに欠けますね。

**内田** 学歴偏重はいずれくずれるでしょうね。

**牧野** B Sには肩書きはありますが、全て同じ仲間として、誰とでも気軽に話し合えます。他にはちょっと例がないですね人間のつながりを大切にしている訳です。

**中村** 若さの秘訣かもね。 (笑)

**内田** B Sの決定に良い面は、利害関係が零であるということでしょうね。だから、だれでも同格、議員でも大臣でも。

**杉山** B SについてのPRといったようなものは如何でしょうね。

**内田** 文部省では、全国の3年生以上の子ども達は、どこかの団体に所属しなさいと言っていますね。スポーツ少年団は大いに発達してきましたが上下がはげしい。人数が多いだけではだめですね。B Sは、その点、リーダー不足も手伝って派手に動いていませんね、じっくり見ていただいて参加の意志をかためてもらうようにしています。

**三輪** この活動に向いている指導者とそうでない指導者がいますね、子どもを遊ばせるのではなく、子どもに遊んでもらうような指導者が、ほしいですね。

**鈴木** 子どもに遊んでもらえるような、ねえ。

**後藤** そういう面では、家庭ではだめですね、子どもがスクウト活動に力を入れすぎて、白い目でみている。

**内田** 離婚ギリギリまでいってみたり、でも、20年余も立ってやっとわかつてもらいましたよ。

**中村** 内田先生、フロンティア精神ということとB Sとは如何

ですか。

**内田** B Sでは、古きを知つて、新しきを知る、を大切にしています。爱国心、信仰心、奉仕の精神を大切に育てていかなくてはなりませんね。

**中村** 有名校では国旗をあげないです。

**内田** そうですね、日本ほど国旗とか国歌をそまつにする国はありませんね。

**後藤** 外国へ行くと、よくそれがわかりますね。

**鈴木** 一度外へ出て、日本を見なおす必要がありますね。

**内田** B Sは外国から来たものだけど、あくまでも日本のB Sでなくしてはなりませんね。ところで、もっとお客様にお叱りをと思っているのですが。

**鈴木** 常に感謝しておりますので。

**杉山** 入野地区ではとても協力的で、会費なども自治会で集めてくれたりしていますね。

**後藤** そういう事を通して近隣社会とのコミュニケーションを計るのがいいですね、『LOOK WIDO』広くみようということです、が、高三・大学生ともなると社会的認識の上に立つてもの事を考えますね。

**鈴木** 父兄だけの会合は。

**後藤** ええ、経済面のこととか、リーダーの後任さがしだとか、団の維持だとかについては話し合っています。

**鈴木** 子どものしつけのことなどでも話し合ってもらうといいですね。

**牧野** 本日は、ご多忙中にもかかわらずご出席いただき、いろいろご意見を伺うことができまして一同感謝いたしております。多方面にわたるご協力をこれからもお願い申し上げて、座談会をとじさせていただきます。ありがとうございました。

(文責 黒柳)

## ぼくらの仲間

### ==浜松第10団カブ隊==



### ぼくらの隊長

#### 4組 相曾好司郎

ぼくたちの浜松第10団カブ隊の隊長は岡本隊長です。岡本隊長の年は、40才くらいで目の上にぼくろがあります。

ぼくは岡本隊長がとても良い隊長だと思う事が二つあります。一つは特別の用事がない限り、隊集会に出席することです。これは、このあいだのときですが、隊集会の始めに、座間副長が「隊長は、今日熱があるから見学しているだけだ」と言いまし

た。がしかし、みんなといっしょにゲームをやったり、しんばんや、おうえんをしたり、昼食会の準備をしてくれました。

それともう一つは、どんな寒い日でも、いつも半そでに半ズボンです。かぜなどをひいている場合などは別ですが、それ以外はぜったい半そでに半ズボンです。しかし寒いとか、寒そうな動作一つしません。この二つです。

熱があつても来てくれる隊長ですから、みんなで休みをする者はいません。それと大人できえ、毎日半そでに半ズボンでいるんだから、ぼくたちも、うす着で外で元気よく運動しようと思う。こんな気持ちを起こさってくれるのは、全部隊長のおかげだ。ぼくは、こんな良い隊長を持ってほんとうに良かったと思う。

### ぼくらの隊長

#### 3組 松本秀尚

ぼくは、うさぎとしかは後とう隊長、くまは岡本隊長に指導されました。

後とう隊長は、ものすごい声を出しておこったりします。それにくらべて岡本隊長は、小さい声で聞こえないときもあります。それで、岡本隊長がはじめて歌を歌ったときは、なんとなく後藤隊長とちがって民ようを歌っているような感じでした。

それと、月の輪のときもきびしくて、ロープができるないと何回もやらせたり、隊ルームの中を回ったり、それに「今度でき

# ぼくらの仲間

ないと、のこすぞ」と言ってロープの指導をしてくれました。

それと、しかのキャンプの時はテントの中でねたけれども、ラジオを聞いたり、トイレにいったり、テントの中でさわいやりしているので、隊長は、なかなかねむれなくて、その朝にはカンカンにおこっていたみたいです。

それと、毎月やる行事などを考えたり、その行事に必要な道具をそろえたりしてくれました。

それに、こんな作文を、「あさってのばんまでに書いてだせ」と無理なこといついていても、岡本隊長は後とう隊長に比べて、とてもやさしいです。それに今年は昨年、一昨年に比べると楽しい行事が多かったです。

それは7月に一回、8月に一回、二回もキャンプに連れていってくれたり、雪すべりにも連れていってくれました。それにお父さんもいっしょにやったソフトボール大会、おもちつきなどです。でも短かいようで長い間、ありがとうございました。

今度はボーイスカウトです。これからもがんばります。

## ==浜松第10団ボーイ隊== ぼくらの隊長

1隊 後藤亨

ぼくらの隊長は、鈴木雅美隊長です。

みんなは、隊長は太っているので自転車にのると苦しそうだと思います。ぼくは、そんな隊長をみているとのしくなります。

ぼくは、二級の試験に隊長の家にいきました。するとジュースと豆を出してくれました。ぼくは、なかなか隊長にもいいところがあると思いました。事実、隊長は顔からしておもしろいのです。

キャンプではニコニコしていて、缶切りがなくて困っているとかしてくれました。しかし変った缶切りだったので切れませんでした。そしたら隊長は、かい力であけてくれました。ようするに、隊長は、いつもニコニコしていて、それでいて、とてもこわいよい隊長だと思います。だからぼくは、キャンプにいくのがたのしくてたまりません。



浜松第10団

## ぼくらの隊長

2組 古橋義弘

ぼくらの隊長は、山下隊長です。

隊長は、目がねをかけていて、とても優しく、おもしろく、かわいい子どもが二人いて、その子は、とてもやんちゃぼうずです。

隊長は、とても心の広いお方ですが、顔は、ちょっと三まいめというほどの顔です。でも、ぼくは、人は顔でみてはいけないと、隊長を見てつくづく思われます。

ぼくは、そんな隊長がとても大好きです。ぼくたちは、いろいろなキャンプをしてきましたが、隊長には、おこられないようちゅういして、いつもキャンプをしています。

まだ、ぼくたちは、隊長のおそろしさをあまりよく知っていないので、一度だけでも隊長のおこりぶりを、しっかり目におさめておき、けんきゅうをしなければいけないと思っています。

ぼくは、隊長のような、りっぱな人になり、世の中に出ていとおもっています。これは、おせじですが、ぼくは、ほんとうに隊長が大好きです。

## ぼくらの隊長

2組 菅沼克至

ぼくは、浜松10団の2隊です。2隊の隊長は山下隊長です。山下隊長は、とてもやさしい隊長です。

それは、ぼくがボーイスカウトに入って、初めての野営の時でした。夕食をつくるために、たき木をひろいに行きました。たき木をひろっていると、少しくぼんでいる所に大きなたき木がおちてきました。ぼくは「いいたき木があったぞ」と思い、そこにおいて、たき木をとりに行こうとしました。一步おりてなんともなかつたので、もう一步進んだとたんに、足がずぶずぶつと、もぐっていきました。もう、たき木どころではありません。ぼくは、むがむ中で足を出そうと思いましたが、足がなかなか出ません。やっとのことで足が出ました。しかし、くつとくつ下がグシャグシャです。ぼくは隊長の所へ行って、足とくつとくつ下を洗わせてもらいました。しかし、洗ったまではいいのですが、はぐ物がありません。変わりのくつも持ってきませんでした。はぐ物に困っていると、隊長が「これ、はけ」と、スリッパをかしてくれました。その時、ぼくは、とても、うれしくて、ありがたい気持ちでした。そのおかげでキャンプファイヤーもでき、とても楽しい野営でした。そのほか、ぼくが困っている時など、やさしくおしえてくれたりしました。

このように、ぼくの隊長は、とてもやさしく、とてもいい隊長です。

## ==浜松第16団カブ隊== ぼくらの隊長

2組 黒柳智昭

ぼくらの隊長は石津さんと言います。いつも楽しく元気いっぱいです。

この間の、緑の羽根のぼ金のあとで、隊長の家へ行きました。その時、カメラのもののいいのをもっていたけど、足を見たらつっかけをはいていたので「隊長、カメラはいいけど、足はつっかけ。とひやかしました。でも帰りにジュースをくれました。

次に、隊長のくせを書きます。それは、自分が、かっこいいことを言って自分がやってないとか、みんなにせがまれたときは「うん。」と言うけど、あとで言うと話をそらします。

隊長は、じょうだんがうまいので、ぼくらは、すぐ、ひっかかるってしまいます。また、隊長は、ねぼすけで、朝、隊長の家へ行つてもねでいることが多いです。夏のこてきの練習の時、隊長が一番おそらく来ます。もっと、いろいろくせはあるけど、



# ぼくらの仲間



ぼくは、隊長が大好きです。  
きびしいけれど、やさしい隊長です。



## 浜松第16団ボーイ隊 ぼくたちの隊長

中島 岩

ぼくたちの隊長は山口照司隊長だ。ふだんは家でクリーニング屋をやっている。オートバイに乗ってクリーニング配達をしている姿をよく見る。

隊長は、メガネをかけていて、とても体格が良い。隊長はユーモアがあり、いつも笑っているような感じがする。

隊長はいろいろなことを積極的にやる人だ。ぼくたちの隊長はこんな隊長だ。そのほか隊長は、いろんなことにすぐのってしまうみたいだ。この間の班長訓練野営時の営火の時も、いろんな歌を歌ったり、おどったりしていた。

まだボーイ隊に入って1年（4月で2年目）だから、山口隊長のことは、あまりわからないが、ぼくたちの隊長はこんな隊長です。



## 浜松第18団カブ隊 ぼくらの隊長

4組 こいけかずや

ぼくらのたいちゅうは、ふく田さんといいます。うちのおとうさんよりちょっと年をとっていて、おすもうさんみたいにふとっています。

むかしは、おにぐんそうとよばれたほど、こわい人だったそうですけれど、今は、いつも目をほそめてニコニコしていて、とてもやさしいです。

年をとったから、やさしくなったのか、ぼくたちのできがいいからやさしいのかわかりませんが、ぼくは、おとうさんといっしょぐらいすきです。



## 浜松第18団カブ隊 ぼくらのたい長

江塚 啓人

ぼくらのたい長の名前は、福田さんと言います。顔はまんまるで福の神のようにいつもニコニコ、目がほそく、動物でたとえて言うならばオットセイによくにている。

3月6日の発隊式の時は、きんちょうした顔でした。たい長は、何かいいことがあると、ぼくたちの頭をなでながらほめてくれ、わるいことがあると「なんだ、あのたいどは」とおこります。

たい長は、ふくたい長といつも、ないしょ話をしているけどぼくは何を話しているのかなあと思います。ないしょ話が終るとふくたい長がみんなに話すけど、隊長はふく隊長に言ってもらってるにちがいない。おこるときは「だめじゃないか」といったり、ほめるときは「よかったな」とほめてくれる。そういう隊長が大好きです。

## ぼくらのたい長

3組 松尾よしひさ

ぼくたちのカブたいができて4ヶ月になりました。なんにもわからないうちに、クリスマス会や元旦行事にさんかしました。ゲームをやったり歌をうたったり楽しいしゅう会で、たい長はとてもやさしい人でした。2月にB-Pさいがあり、たい長は食けんをわけてくれて、またまた、いい人だなあと思いました。その後のしゅう会ぐらいから、ぼくらのはつたい式があるのでゲームや歌ばかりではなくなりました。わるさをしたときや、いうことをきかないときは、ふだんやさしいたい長もおこります。そこでぼくはビックとなります。そしてはつたい式のときのたい長は、いつもよりカッコよかったと思いました。たい長がゲームや、サッカーにさんかしてくれたら、もっといいなあと思っています。

ぼくは、これからも休まないように、がんばりたいと思います。



# ぼくらの仲間



==浜松第18団ボーイ隊==

## ぼくらの隊長

ワシ班 湧 美 和 之

18団の隊長は伊熊隊長です。隊長は細い体で、一口に言えば弱々しい感じがします。少なくとも、ボーイスカウトは強く、大きく、たくましいという入団当時のイメージとは、まったく違います。しかし、今までのボーイ活動で一度でも頼りないとか心細い思いをしたことはありません。「なぜだろう」と考えなおすみると、とても不思議なことなのです。

でも、やっとボーイスカウトのことが理解できるようになつた今、少し答えが出てきました。ぼくはこう思うのです。隊長は、いつもぼくたちの陰で地道な計画を立て、ぼくたちがボーイスカウトという一本のレールから脱線しないように助けてくれているのです。たくましさなんて問題じゃない。その隊長の努力が今まで、ぼくたちに頼りなさをまったく感じさせなかつたのです。しかし、この隊長の手助けによってレールの上を走ることは、幼稚園の子供でもできます。そんなことではいけないのです。かえって、ぼくたちが隊長を引っぱって行くぐらいにならなければいけないのです。それが本当のボーイ活動なのだ、とぼくは思います。ぼくたちの体は細いが、信頼でき優しい隊長とぼくたちボーイスカウトでコンビを組みレールの上を走って行けば、もう怖いものなど何もない、とぼくは思います。



スキー訓練の私達の隊

## ぼくらの隊長

コンドル班 堀 整 鎮

ぼくらの隊長は伊熊さん、植田さんがいます。とてもきびしそうですが、反対でとても優しいです。いつもぼくらのことを見守ってくださるので、ぼくらは安心して行動ができます。

すこしいじわるなところがありますが、ほとんどが優しいです。それにいろいろ、やく立つことを教えてくださるので、ぼくは隊長が好きです。

○いつも見守ってくださる隊長。

○すこしきびしい隊長。

みんな、ぼくらのためにやってくださるのだ。ぼくらは、これからもがんばります。ぼくらの隊長、ぼくら18団の隊長は、どこの隊にもまさる、とても良い隊長だと思います。

==浜松第18団シニア隊==

## 我等の隊長

伊 熊 教 通

僕たちの隊長は、BS隊、SS隊とともに福世正志大々隊長でした。でしたと言つてもSS隊は、現在もそうですが、僕たち高一生(52年度高二生)がBS隊のときには、BS隊の隊長だったので、SS隊に移るとき、同時に福世隊長もSS隊長になったので、もう五年以上も僕たちの隊長をお務めになられているわけです。だから、福世隊長のことなら、もうピンからキリまで知り尽くしているつもりです。

BS隊のときは、大変厳しい隊長で有名でしたが今では、その厳しさも半減して、半減したというより、子供さんが二人生まれて優しさが増して来たみたいです。けど今でも山に対する厳しさは失なわれてはいません。山といえば自動車の通る山道をオンボロバード(昔、隊長が乗っていたブルーバード)でブレーキをかけずブツッとばすテクニックの素晴らしさは有名でした。必殺の両手放し、恐怖の信号無視、それに人の車のメーターツブし、と技は様々で、同乗する人を恐がらせたものでした。現在でもその腕は健在しています。それと、スキーが大変上手で右へ曲るフォームで左へ曲り、左へ曲るフォームで右へ曲ります。海外派遣もフィリピンへ副長として派遣されています。

僕たちは、こんな立派な隊長に指導されて大変光栄なことだと思います。

## ぼくたちの隊長

清 水 正 寿

ぼくたちの隊長について書くことを聞いた時、ぼくは、すぐ福世隊長の顔が浮んできた。それは、SSの隊長であるから…。ただそれだけの理由で浮んできたのではないと思う。それは一寸昔のことだけど、ぼくがボーイスカウトに入ることになってその説明会の時、たしか隊長は黒いとっくりのセーターを着ていて、一寸おっかないように感じた。それがぼくの隊長を見た時の第一印象だ。でも月日がたつに連れてボーイスカウトの事についても大体わかった時、隊長がどういう人かという事もわかつた。

進級考査を受けに行ったとき、隊長がぼくの顔をじっとにらみついているようで胸がどきどきしてあがってしまい、せっかく家でおぼえてきた事を忘れてしまいそうだった。でも、おっかないことばかりではない。冗談も言うし、冗談をわかってくれたり、中学二年の12月に隊長とみんなでマラソンをして、その後に朝食をくれたり、まちがっている行動をしているとすぐ指摘してくれたりしてとてもいい隊長だ。

副隊長の浜田隊長は、ぼくがBSのとき顔を合わせたらあいさつをするぐらいだった。また浜田隊長も、福世隊長と同じように一寸おっかないなあと思った。でも浜田隊長は集会などでみんなにためになることをいろいろ話してくれて、ぼくはただ「あっそうか」とただうなづくだけだ。

福世隊長も、浜田隊長も口にいい表わせないほどいい隊長で頼がいのある隊長だ。



# ぼくらの仲間



## ==浜松第20団カブ隊==



県大会ハイキング・養鷹場

## ぼくたちの隊長

竹村 謙

ぼくたちの隊長は、とてもやさしくおもしろい隊長です。ぼくたちがカブスカウトに入ってから、ぼくたちみんなのめんどうをよく見てくれた。九月ごろから三月の初めごろまで仕事の関係でカブ隊の集会、行事には出てこなかった。ぼくたちは今度ボーイスカウトになって、カブの隊長とは別れるけれど、カブスカウトのことを思い出してボーイスカウトになってしまふがんばるつもりです。隊長は20団のカブスカウトにすごく人気があり、ぼくたちが集会のとき、遊んでいると名前をよんで注意したりしてすごくマジメな隊長です。

## ぼくらの隊長

坂本 隆文

ぼくたち20団の隊長はいつも笑顔で楽しい隊長。みんなが大好きで、とてもよい隊長。だけど、時にはきびしくおこる隊長。

今日は楽しい日曜日。いつものように隊長の大きな声が空いっぱいにひびいている。

「パック パック パーク」どこからか隊長の大きな声が聞こえてきた。隊長の声を聞けば、どんな子でもすぐに集まる。あのような大きな声は、ぼくには出せないかも……?

さあ、ゲームが始まる。今日も隊長たちが考えてくれた、楽しくおもしろいゲームだ。みんな、とても楽しそう。これも隊長たちのおかげ。ぼくらの隊長、いつまでもいっしょに活動してもらいたい。ぼくは、こう思っている。

## ==浜松第20団ボーイ隊== 隊長

村上 達也

ぼくから見て隊長は一言でいって「移動コンピューター」と

いえると思います。それは、隊長が何をやってもできないものはないということからです。なかでも隊長は自分で曲を作ってそれを隊集会などで発表し、全員で合唱をするのです。いわば「シンガー・ソングライター」みたいなものです。

また、話は変わって、隊長がおこる時は、言いたいことをガミガミとしかり、あとは、もうそんなことを忘れてしまったようにさっぱりしてしまう。それに、隊長は名前を呼ぶときは、いつもニックネームで呼びます。だから何でも隊長と気軽に話しあうことができます。こんな楽しい隊長いるでしょうか。

## ぼくらの隊長

坂元 隆仁

「はい、集合!」これは、僕たち浜松20団の隊長が集合をかける時にいう言葉だ。ほとんどの時に「集合」の前に「はい!」という言葉をつけて言う。僕が見たところ、他の団の隊長とのちがいはこのくらいだった。しかし、班長訓練野営で、他の団の隊長の話を同じ班の友だちに聞いたところ、本を見て三つのちかいと12のおきてを読むだけで、一級スカウトにしてくれる隊長のいる団や、中学二年生になんでも、ほとんどのスカウトが初級スカウトのまま、というほど評価のきびしい隊長のいる団などがあった。僕たちの隊長は、それほどあまくもないし、きびしくもない。簡単にいえば、普通という事である。けれども原田隊長は僕たちの事に大変気をつかってくれる。たとえば僕たちが隊集会をやる場所は、朝早いと太陽の光が木にさえぎられ、ほとんど日光があたらないところだ。とくにこの冬は寒かったので、隊集会をやる場所を日当りのよい場所にかけてくれたり、曇っていたり、風の強い日には隊集会をやるまえに体の暖まるようなゲームや運動をやり、みんなの体が暖まってから隊集会をやったりした。僕は、あと一年間のスカウト活動を隊長とともに楽しんでいきたいと思っている。

## 第20団の隊長

清水 誠

ぼくがボーイスカウトに入って早や三年になります。その三年の間に隊長が交代して現在の原田耀造隊長になりました。スキーや地区大会などへ行くバスの中でもよく歌い、よく冗談を言い、自分で歌を搜して来て、みんなと歌う、こんな隊長がいるのが我が20団。つまり我隊長は明るく、ほがらかな性格なのです。隊集会の時だってポールを持って来てソフトをやったり新しいゲームを考えたりしてくれます。それに集金袋に班の色をぬって、ワシ班は赤なので袋を渡す時「アカレンジャー」と言って呼びます。また我隊長はとても親しい兄貴のようで、いろいろ教えてくれたりします。とにかくとてもよい隊長です。

B S 隊長の悪ぐちを書こうと思いましたけど、隊長の悪い所をどうしても見つけられませんでした。

## ==可美第1団カブ隊==

### ぼくらの隊長

2組 谷口 徹

ぼくは始めはカブみたいに入りたくなかった。でもお父さんとお母さんに進められて入りました。

たい長に始めて会ったのは、たい長の家でした。ぼくはカブ



# ぼくらの仲間



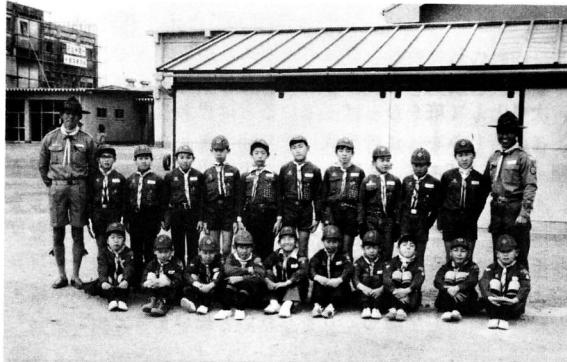
たいのたい長とゆうのはすごくこわい人だと思っていた。

あって見て、ふつうのおじさんでした。せいふくを着たたい長はすごくきびしくぼくはときどき注意されます。たい長はなにかのときは、いつもいっしょに行って遊んだりするけど、スケートの時はすべらなかった。ぼくはどうしてかなと思った。

ぼくはまだカブたちはすきじゃありません。でもこれから少しづつさきになろうと思う。

## ぼくらの隊長さん

5組 せつ かずや



可美第1団カブ隊

三年前、ぼくたちは、カブスカウト隊に入隊した。可美第一団だ。隊長の氏名は友田文哉だ。ぼくは、はじめてあったとき「へんな、名まえだなあ。」と、言ってしまいました。いつも隊長は、サングラスをかけていたので、心の中で「かっこいいなあ」と思っていましたがサングラスをはずすとちょっと、わらえてきます。ときどきおこる隊長。でもやさしい隊長。ぼくは、こんな隊長が好きです。ぼくたちがボーイに上進してからも気をとらないで、がんばってほしいです。

ぼくらがボーイスカウトになっても、隊長のことは、けっしてわすれません。ぼくの好きな隊長、元気にがんばってください。

## ぼくらの隊長さん

4組 所 康俊

ぼくたちの隊長は、友田文哉と言って、とてもおもしろい。ぼくがカブ隊に入る時、はじめて会った。その時も、やさしそうに見えた。この前、すわ神社でのキャンプの時、ぼくが、ねつが出て、きぶんがわるかった時、「家で静かに、ねていなさい。」と心配そうに言ってくれた。また、時々、じょうだんを言ったり、じゃんけんゲームやドッジボールなどで、いっしょに遊んでくれる。だけど、大切な話などをしている時などに、しゃべっていると、前に出し、注意して、カブ隊のさだめを言わせます。その時は、とてもこわいと思います。集会の時は、たいていメガネをかけているけど、時々、はずす。とても子どもすぎだ。すごくやさしくて、とてもいい隊長だと思います。

## ぼくたちのたい長さん

2組 服 部 知己

ぼくたちのたい長さんの名前は友田さんといいます。たい長は、おによりこわいけど、いつもはやさしいです。

隊集会の時ゲームや、はしりっこなどをやってくれます。キャンプなどへ行ったときソフトボールやしりとりをやってくれます。今度はおこったときのことをはなします。たい長がおこると目が目出きんのように大きくなります。たまにげんこつがとることができます。けれどすぐニコニコがおになります。

たい長は、サングラスをかけていた方がふつうよりいいと思います。ぼくは、たいのとなの人のなかで一番すきなのは、たい長です。これからもがんばってください。

## ぼくらの隊長

1組 高 沢 泰 伸

ぼくらの隊長は、おこりっぽいし、かっこうをつけて、サングラスなんかかけていて、35才なのに、わたく見せようとしている。あだ名は、隊長きん、とみんながゆっている。おもしろい隊長だけど、はじめになると、「しっかりやれ」と大きな声でとなる。

ぼくは親とはなれて生活しているので、さみしいときもあるみんなはお母さんといっしょだから、いいなあと思う。

いままでにカブをぬけようと思った時もあったけど、カブは楽しいし、隊長さんがやさしいので、つづけてがんばります。これからも、みんなをわらわせたり、しかつたりして下さい。

## ==可美第1団ボーイ隊==

### ぼくらの隊長

山 中 慎 一 郎



可美第1団ボーイ隊

ぼくたち可美第1団ボーイ隊の隊長を紹介します。まず名前は「太田進」可美役場につとめています。性格は、とてもやさしいです。おこったことは、まずないと思います。

ぼくがボーイに上進した時、どんな隊長なのか、とても心配でした。が、とてもやさしかったので、たすかりました。それから細かいことにあまり口を出しません。この前、B-P祭に行く時、集合の合図をかけてもなかなかあつまらなかったので隊長は、「ぼくは、あまりおこらないが、2年前に、スカウトが、だらけていたので、グランドを3周させたことがある。あまりだらけていると、2年前と同じように、グランドを回らせるぞ」と言った。ぼくは、そのことばを聞いて「隊長は、おこる時にはおこるんだな。」と思った。ぼくは「隊長は、おこらないから、いいや。」と、今まで思っていたが、これからは、隊長に心配かけないように一生けんめいがんばろうと思った。

# 浜松地区班長訓練野営 於・渋川、川宇連野営場 昭和52年3月20日～3月24日



## 班長訓練野営を おこなって

浜松第10団 後藤尚貴

3月20日、ぼくたちは、渋川の川宇連で班長訓練野営を行いました。初めはバスの中でしゃべっていましたが、川宇連にはいると「よし、やるぞ」と燃えてきました。ぼくたちの班のサイトは、ますますのできぐあいでしたが、水の使い方が悪く、びしょびしょになりました。隊集会では、隊長の話を少しも聞きのがさずノートに書きこみました。国旗の掲揚法をよく知らなかったので隊長にしほられました。ぼくが、ごはんをたくと、いつもからからのごはんになりました。しかし、みそ汁はうまたです。ロープしばりを自分ではわかっているつもりでしたが、いざやってみると、シニアの人たちに教えられてしまったので、「まだまだだな」と、つくづく考えさせられました。夜、寝る時に、A君が転がってきて、D君が何かを出しました。しかし、そんなことをしているうちに、消灯前に寝てしまいました。いつも10団では、もっとさわがしいのに、「やっぱり班長になるとちがうなあ」と考えました。

ぼくたちコブラ班は、2日間連続で優秀班になりました。そこで、「イノシシ班とは全く逆だな」と感じました。久留米小学校までのハイキングは、長い長い死のロードでしたが、みんなと歌を歌って歩いていると、そんなことはあまり考えませんでした。小学校へ着くと、いろいろな持物を川宇連に忘れて来たのに気がつき、「班長としては、もっとかんばらなくてはいけないな。」と考えさせられました。B君は、変な歌に踊りをつけて遊んでいて点検前にさわいでいたのでこれからは、そういうことをなくして、自分の團に帰ったらがんばってもらいたいです。ぼくも、この班訓の経験をいかし、もっとよいスカウトになり、自分の班を進歩させるつもりです。最後に、お世話になったリーダーのみなさん、ありがとうございました。

## 班長訓練野営について

浜松第16団 沢根智彦

川宇連のキャンプ場に来るまで、野営にはあまり活動に参加したことがなかった。だから、テントの張り方、ロープの結び方など、いろいろ質問されても答えられなかった。はずかしいことだと思うので、今回の班訓で覚えたことだけでも忘れないようにしようと思っている。

3泊4日の長いキャンプは、初めてなのでいろいろ不安だったが、1日、2日と過ぎていくうちに、楽しさでそんな不安もふっとんでしまった。

まずいご飯も、きびしい訓練も、ボイスカウト活動をしていない人には味わえないことなので、ぼくはそういうことを体験できてうれしく思う。班長訓練野営でいろいろなことを学べて、よかったと思う。そして、それをスカウト活動に生かしていきたいと思う。

## 班長訓練野営に来て

浜松第18団 松永保次

ぼくたちの先輩の人たちは、こんなに苦しいことをして、班長、次長として班をひっぱっているとは思わなかった。今初めて、この苦しみを、この班訓に来て知りました。日頃、班集会を開くとき、「ああ、またか。」と思いつかれていた。今思うと、次期班長、次長として、もっとまじめに年下のスカウトをひっぱり、手本として活動していくかなければいけなかったと反省している。今度、隊にもどったら、班長として、チームワークのよい、スカウト活動の活発な班、大きな集会に出てもはづかしくない班として隊づくりをしたいと思います。



## 班訓において

浜松第20団 横原秀介

この班訓において気づいたことは、自分の日常の性格が悪い面で出てしまったことだ。ぼくとしては、いろいろ努力したつもりだが、自分勝手なことが、多すぎたようだ。そのためには、班が乱れてしまった。だが、日がたつにつれて、だんだんよくなってきた。それは、班の仲間が、いろいろな形で、ぼくの性格を立ち直らせてくれたからだと思う。班員の心が日に日に一致してきたからだと思う。

次に班というものは、班員1人1人助け合い、互いに苦しみ、喜んで初めてできるものであるということを、この班訓での自分の立場からよくわかった。そして、この貴重な体験を忘れないようにして隊へ帰り、班長として、班を1つにまとめ、隊に協力し、班という1つのものをしっかりと作りあげようと思う。そして、班が乱れるようなことがあったら、この体験を班員に話そうと思う。

## 母のありがたさ（班訓野営にて）

浜松第16団 ボーイ隊 松家直樹

ぼくは、この前の班長野営のとき、母のありがたさがよくわかった。特に、食事のしたくなんかのとき、全部ぼくらがやらなければいけない。水がほしいとき、お母さんくんで、といえば、くんでくれるけど、自分でくまなければいけない。それから、食事が終わったあとの、あとかたづけ。あんな冷たい水で、お母さんは、よく毎日あらえると思った。

それから、朝おきるときに、いつもお母さんにおこしてもらうけど、自分でおきなければいけない。ここでもお母さんのありがたさがよくわかった。それから、物がなくなったとき「お母さん、どこやった」といって、いつしょにさがしてもらう。これも自分でやらなければいけなかった。もうひとつ、おなかがすいたとき、「お母さん、なにかない」ときくと、なにか必ずある。しかし、野営のときは、おなかがすいても、なんにもなかった。ここでも母のありがたみがよくわかる。お母さんとゆうものは、子どもにとって、いや家族にとって、すごくだいじなものだと思った。これからもお母さんをだいじにしなくてはと思った。

## スケートに行ったこと

可美第1団 カブ隊 鈴木秀則

バスで、スケートセンターへ行った。ぼくは、はじめてなので、クツをはくとき、このクツで、氷の所まで行けるのかなあと思った。ふしぎなことにエッヂ二本で氷の所まで行けた。手すりに、つかまって、おそるおそる氷に足をつけた。すぐころんできてしまった。なんどやっても同じだ。おもいきって、まん中の方へ行って見ようと思ったが、すぐにころんできてしまった。もう一回やってみた。やっぱりだめだ。三回目だ。すべれた。2~3mだけど、すべれた。リンクを一周したように、いいきもちだった。それから、何回も、しりもちをついたけど、とてもおもしろかった。帰りのバスでは、おしゃりがぬれて、つめたかった。

## 茶臼山へ行ったこと

浜松第10団 カブ隊 鈴木孝明

1月23日、ぼくたち浜松第10団カブ隊は、目的地茶臼山に向かった。バスの中から、雪が見えるたび、みんな座席から立ち上がった。そして途中バスからおりて雪の道を走る目的に向かった。出発してから、およそ3時間たって目的地にたどり着いた。ぼくたちは、ひとまず愛知県立茶臼山ロッヂで休憩した。荷物をロッヂにおいて、そりをもって雪遊びを行った。とても雪がたくさん積っていた。そこは、とても坂が急になっていて、とても登るのが大変だった。そりすべろうと思ってそりにのったが、少しこわくてなかなかすべれなかった。おもいきって、すべってみた。初めてなので、うまくすべれなくて、途中でころんできてしまった。いくらやっても同じ結果だった。松本君と二人でやったが、それでもだめだった。着ている服は雪でびっしりになった。そして隊長さんが「もうそりは、やめて次は雪だるまを作ろう」と言って、各組にわかれ、雪だるまを作った。雪がサラサラしていて、なかなか形が作れず、苦労した。どの組も、くふうをこらして作っていた。ひげをつけたり、ダンボールばこの洋服をつかった組があった。ぼくたちの組もくふうして作った。でき上がったあと、雪だるまを隊長さんが見てまわった。そして雪だるまといっしょに、写真をとった。隊長さんが各組の感想をのべた。次に、みかん落しをやった。竹を2本並べた上に、置いてあるみかんを落とすゲームだ。みんな次々と、みかんを落とした。ぼくは、1コしか落

せなかなかった。もっとたくさん落としたかった。次に雪合戦をおこなった。みんな、力いっぱい雪を投げあった。中には、とても大きな雪の固まりを投げてくる人がいた。みんなひっしだった。ぼくも、まけるものかとがんばった。雪合戦は初めてなのでとても楽しかった。雪とおもう存分遊んだ。そしてロッヂにもどり、バスで帰った。これで雪とおわかれかと思うと残念だった。この日は、とても楽しい一日だった。いつまでも楽しい思い出として残るだろう。

## 竜頭山登山

可美第1団 カブ隊 5組 伊藤秀明

3月6日、夕べは、山か公民館にとまった。きのうの雪もやんで、ぜっこうの登山日よりだ。公民館から約30分かかって登山口までやってきた。細い道を登り始めた。ボロボロのくさた木で、できている、いまにもつぶれそうな橋が、たくさんあった。どんどん登っていった。雪もちらほらと見えてきた。出発したときよりもなんだか荷物が重くなった感じがしてきた。もう話をする元気もなくなった。足がいたい。太田隊長が、ストップをかけた。「パンを食べてもいいぞー」と言ったので、昨日くばられた、あんパンを食べた。とてもおいしかった。また歩きだした。急坂も最後の力をふりしぼって登った。もう動けなくなりそうだ。「やった。ちようじょうだつ」ついにここまでできた。やったぞ。うれしさでむねがいっぱいだ。パンザーイ。



スキー 可美第1団 カブ隊 小原利之

2月に団でスキーに行った。場所は、きりがみねスキー場だ。ホテルに夜ついた。そして朝になりスキーをかけてスキー場へいった。最初はなかなかすべれなかった。すこし上からすべったら、前に人がいて、ぶつかった。何回もすべっていたら、なれてきて、うまくできるようになった。それでもっと上へいってすべった。ころびそうになったことがあったが、うまくできた。またすこし上ってすべったら、下の方でころんだ。むずかしいなと思いながらすべった。それよりむずかしいのは、登るときだ。横になって登る。とてもむずかしい。だんだんじょうたつしてきた。ころんではばっかしと思っていたが、うまくできるようになった。

「わーい」とよろこんだ。どんどん上へいってすべる。最後に聰君と、ちょうど上へ登ぼって富士山を見た。そして下へすべる。ザーザーと音を立てながら下へすべる。すべっていると、とてもいい気持だ。と中ですべっているたいせいをくずしてしまった。けど立ちなおった。くつがぬげたので、ころんできました。足をくじいた。しばらく立てなかつたが、なんとか立つた。それからホテルへ帰った。ホテルでゲームをやってあそんでいた。そのうち、みんなが帰ってきた。昼ごはんを食べてからスキーをやりなしあそんでいた。そして帰るときになった。帰るしたくをしてホテルを出た。

## カブスカウトに入隊して

浜松第16団 カブ隊 佐野真人

ぼくが、カブスカウトに入隊したわけは、かっこいい制服が気にいったからです。もう一つのわけは、人々の役に立ちたいと思ったからです。

「うさぎ」のスカウトのときの8月に初めて小国神社にキャンプにいきました。わからないことが多くて、最後までやりとげられなかつたことがたくさんありました。

「しか」のスカウトのときには初めてスキーにいって、めずらしさにとりつかれて、いらっしゃけんめいやりました。そして思ったことは「スキーって、かんたんなようで、むずかしいんだな」と思いました。

「最後の「熊」のスカウトのときに、自分が5組の組長になつたのでびっくりした。おそらく去年は、一日も休まなかつたので隊長がそうしてくれたのだと思う。「ぼくだってできるじゃないか」と思った。最後の年なのでスキーもキャンプも力いっぱい活動した。

4月からはボーイスカウトになるので、今までにがんばつた気持を忘れないで、これからもがんばりたいと思う。

## ボーイスカウト活動

浜松第16団 ボーイ隊 沢根智彦

ぼくは、小学校3年生のとき、カブスカウトになり、3年間カブスカウト活動をした後、ボーイスカウトになった。ボーイスカウトになった初めの年、ぼくが6年生の時は、まだ小学生だったので、日曜日や休日はひまだつたので、よく活動に参加できた。しかし、中学生になってからは、部活動等と重なつて、活発に参加できなくなってしまった。

地区大会や、班訓などへ行って、ほかの団のスカウトの胸を見ると、2級、1級章のついている人が多い。ぼくはまだ初級だ。やっぱり活動に活発に参加しなかつたのも一つの原因かもしれない。しかし、努力すれば、部活もスカウト活動も両立させて、2級、1級章がとれるかもしれない。ぼくも努力して、早く2級スカウトになりたい。そうしなければ、班長になつたときに、面目が立たないし、ぼくたちのために、いらっしゃけんめい指導してくれるリーダーにも面目が立たない。川宇連の班訓で学んできたことも生かして、よき班長、よきスカウトになりたい。

## カブスカウトでの3年間の生活や反省

浜松第10団 5組 那須田祐輔

ぼくは3年間のカブスカウト生活を振りかえってみる。楽しい思い出がたくさんあったけれど、そのうち特に三つは今も心に残っている。

一つは、愛知県茶うす山雪あそびに行ったことです。まっ白な雪しきは初めて見たし、雪あそびも初めてだった。寒さや、つめたさもすっかりわすれて、あそびまわった。

一つは、たつ山村へキャンプに行った。山をあるいて、おなかがすいて、たべたごはんはみたいへんにおいしかった。

もう一つは、中田島のB-P祭のことです。竹うまとか、ハングライダーや、めいろのゲームをやった。

ぼくは、カブスカウトに入って、よかったと思う。その理由は、大せいの人で何かをしようとするときに、チームワークが大切だということがわかった。

カブスカウトは、おかあさんや、おとうさんがついていたけれど、ボーイスカウトは、ついてこないので、自分の力でやっていかなければいけない。ボーイスカウトになったら、カブスカウトよりも、しんけんにやっていきたいと思う。

## 需品部だより

◎野営、舍營に必要な需品を特別価格で販売中。スカウト諸君、ご利用下さい。

品名	定価	B.S.C.S.特別価格
キャラバン製 寝袋 3季用ポリエステル 1.2kg以上	¥ 6,300	¥ 4,200
日本連盟指定 大寸	¥ 8,500	¥ 7,200
キスリング 中寸	¥ 8,200	¥ 6,900
(リュックサック) 小寸	¥ 7,900	¥ 6,700

### ◎日本連盟出版物

おもちゃの作り方	① ¥ 650
〃	② ¥ 650
遊びのガキ大将	¥ 650
冒険手帖	¥ 650
ち一やん夜話集	¥ 800

### ◎日本連盟新需品

シゲナルミラー	¥ 500
シャープナー x	¥ 700
ウッドバッヂコースパックル	¥ 1,500

浜松市連尺町2

B S 浜松需品部 旭運動具店

電話 54-4301

## ～うごき～

- 52年
- 1月1日 新年日の出遅挙式（中田島海岸）  
8日 52年度S.Aドベンチャーキャンプ企画委員会（県民会館）  
9日 南部小地区リーダー研修会  
18日 地区新年会（法林寺）  
20日 中央小地区リーダー集会（法林寺）  
22日 コミ・事務長合同会議（県民会館）  
22日 組織拡張委員会（法林寺）  
29日 県連トレーニング作業チーム集会（県民会館）  
29日 地区内コミ会議（法林寺）  
2月6日 浜北第5団S.S隊審査（中瀬町神社）  
9日 地区内コミ会議（法林寺）  
11日 52年度登録事務説明会（法林寺）  
12日 県連トレーニング作業チーム研究集会（法林寺）  
13日 浜松第18団C.S隊審査（浅田町神社）  
16日 県大会西部会場実行委員会第1回打合せ会（法林寺）  
23日 野営行事委員会（法林寺）  
26日 県連無線クラブ総会（県民会館）  
3月5日 51年度班長訓練野営下見（渋川・川宇連野営場）  
5日 県理事会（県民会館）  
6日 浜北第5団結成式（中瀬小学校）  
6日 浜松第18団C.S隊発隊式（浅田町神社）  
10日 健康安全委員会（法林寺）  
11日 組織拡張委員会（法林寺）  
11日 ヨット委員会（法林寺）  
13日 昭和52年度登録事務受付（法林寺）  
13日 S.S.Aドベンチャーキャンプ下見（富士グリーンキャンプ場）  
14日 県大会西部会場実行委員会第2回打合せ（法林寺）  
16日 地区訓練チーム研修会（法林寺）  
17日 中央小地区研修会（法林寺）  
19日 コミ・事務長合同会議（県民会館）  
20~23日 昭和51年度班長訓練野営（渋川・川宇連野営場）  
27日 植樹祭（スカウトの森）（静岡）  
3月10日~4月末日 みどりの羽根募金運動

## 発行所

第67号

日本ボーイスカウト浜松地区事務所  
浜松市利町70-4 児童会館内  
編集発行責任者 山中将司  
印刷所 朝日堂印刷所

昭和52年4月15日発行